

広報軽米 【 2023 年（令和 5 年）8 月号 】 からの抜粋

（軽米病院だより）

軽米病院だより

カシオペア圏域の病院・医院について

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

圏域の各病院の機能についてお話しします。大体はご存知と思いますが、「二戸病院では手術をしている、お産も」、「一戸病院は精神科」、「軽米病院は老人病院」といったところでしょうか。

基幹病院である二戸には多くの医師がいますが、盛岡・八戸と比べると少ないです。そこに集中しすぎても皆さんの待ち時間も長くなり、スタッフも疲弊してしまいます。高齢者の肺炎やリハビリ主体の方などは軽米の方が向いていますし、一戸にも精神科

以外の先生（内科・外科）もいらっしゃいます。また、ワクチン料金などは県立よりも開業医さんの方が安いです。ですから病院機能を理解して利用していただけたらいいでしょう。あと皮膚科・耳鼻科は県立にも常勤医はいませんし、ひどい交通事故など難しい患者さんは八戸に送られることも多いです。

岩手県北は医療従事者も少なく、募集してもなかなか集まらない現状です。これは医療界だけでなく、少子化によって全ての分野が抱えている悩みです。若い皆さんは色々な職種へ進める可能性があります、どこでも必要な資格（学歴）はありますので、中高校生時代にしっかり勉強していただきたいです。